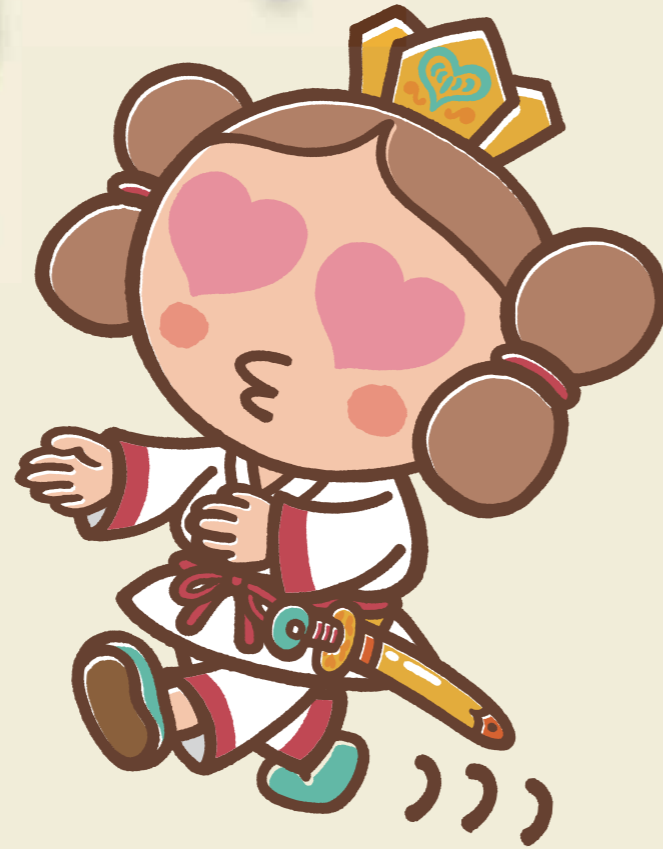
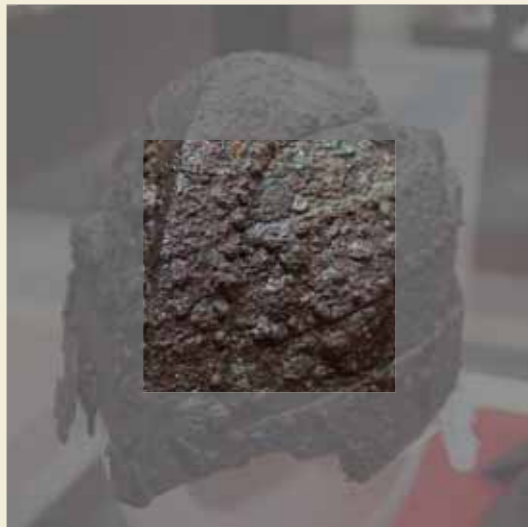


マイブツカンヤ Vol.4

特集：平成の大修理！

はじめまして！
僕はラブヒコ。これから
象嵌装大刀や、鹿屋の文
化財を紹介していくよ。
みんな！よろしくね♥

よ〜く見てみよう！
鉄の板が鉄（クギみたいなもの）
でとめられているのが分かるよ。
サビとのちがいに気づけるかな？



もっと知りたい！…そんな時は連絡してみよう

鹿屋市教育委員会 文化財センター 鹿屋市串良町岡崎 2059 串良総合支所別館
電話 0994-31-1167 / Fax 0994-63-3400
E-mail: bunkazai@e-kanoya.net
URL <http://www.e-kanoya.net/>

施設の紹介



王子遺跡資料館



串良歴史民俗資料室



輝北歴史民俗資料館



なんということでしょう！平成の技術によって 1500 年も前のものがきれいに修理されたよ。前の修理では、内側の様子が分かりにくかったんだけど、今回の修理で、内側もよく観察できるようになったんだ。残っていた鉄の部分は、サビが進まないように処理をして、無くなっている部分には別の材料を使って、できるだけ元の形に再現したよ。さびた鉄のカケラだとよく分からないからね。

レントゲンなどを使って、鉄と鉄が**びょう**でとめられているのが分かっていただけ、今まではよく観察できなかったんだ。今回の修理ではつきりと見ることができるようになったよ。



古い材料を外す



鉄の中にある塩分をとりのぞく



さびないように樹脂をしみこませる



表面をまもる薬をぬる



もとのかたちにもどしていく

修理前

Before



撮影：鹿児島大学総合博物館
准教授 橋本達也 氏

県指定文化財
短甲・衝角付冑

昭和 25 年に鹿屋市西祓川町の地下式横穴墓で見つかったんだ。鉄でできているし、土の中にあったことから、サビてボロボロになっていたんだよ。でも見つけた先生は、もっとボロボロにならないようにと修理をしたんだ。

それから何十年もたつと、どうしてもまた痛んでくるんだ。それは当時の接着剤などの材料そのものがダメになってくるからなんだよ。

鹿児島県の指定文化財という貴重な品物だし、もっとみんなに見てもらいたいから、奈良県の元興寺文化財研究所という所をお願いして大修理をすることにしたんだ。



撮影：鹿屋市教育委員会
文化財センター

修理後

After